



Japan Bird Festival 2018

～人と鳥の共存をめざして～

■開催主旨

自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的な事業をはじめ、科学的な鳥類知識の普及及び教育的・環境的視点にたった事業の実施を通して、新しい地域文化の創造及び人と鳥が共存する豊かな生活を目指しています。併せて日本各地および世界にその情報を発信し、芸術文化の素晴らしさや身近な取り組みから自然環境の大切さをアピールしていきます。

ジャパンバードフェスティバルは日本最大の鳥のイベント！！
毎年4万人の来場があります。

■JBF2018 PRポイント

①野鳥観察をはじめたい人必見！様々な講演会

②海外から7ヶ国（8団体）の出演

ハワイ、モンゴル、台湾、フィリピン（2団体）、タイ、イスラエル、インド

①野鳥観察をはじめたい人必見！様々な講演会

●鳥学講座「スズメ研究のスズメ」

：アビスタホール

講師：三上 修（北海道教育大学函館校 准教授）

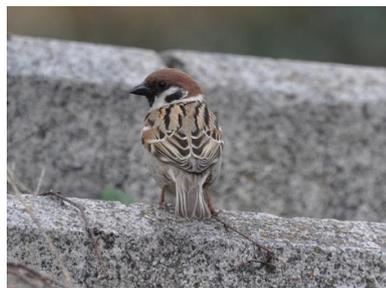
共催：（公財）山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館

鳥学講座は第一線で活躍している鳥類研究者を講師に招き、自身の研究やプロジェクトについて、来場された方々に興味・関心をもっていただけるようにお話しいただくものです。

講師の三上さんは都市の中で暮らしているスズメを題材にした研究を進めています。誰もが身近に感じられるスズメですが、生態や生息数の増減など気にしない方、知らない方が多いのではないのでしょうか。そんなスズメに目を向けるきっかけとなるお話をしていただきます。



会場の様子



スズメ



三上修氏の著書

なお、ジャパンバードフェスティバル開催中、鳥の博物館では、スズメなどの我孫子市に生息する都市鳥についての企画展「我孫子の都市鳥—都市の発展と鳥たちの移り変わり—」開催中です。JBF 期間中は入場無料です。

●野鳥撮影講座～鳥の魅力を引き出す表現や構図とは～

: アビスタホール

講師：山田 芳文（野鳥写真家）

主催：ソニーマーケティング(株)

野鳥専門誌、カメラ専門誌などでおなじみの野鳥写真家による特別講座です。

鳥の魅力を最大限に引き出す美しい撮影表現や構図について、一般の方の撮影写真や山田氏の作品を交えながらわかりやすく解説していただきます。



その他

- ・全日本鳥フォトコンテスト講演会
 - ・光学機器メーカー出展者による自社製品での撮影体験
 - ・湖畔バードウォッチング（常時、手賀沼湖畔の野鳥を観察できるスペース）
 - ・船上バードウォッチング（大変人気で毎年満員御礼。遊覧船で手賀沼内の野鳥を観察します）
- など、野鳥観察や撮影をはじめたい方々には見逃せないイベントや展示が盛りだくさんです。

②海外から7ヶ国（8団体）の出展

: オオバン広場、水の館2階

JBF 2018では昨年に引き続き、ハワイ、モンゴル、台湾、フィリピン、タイ、イスラエルが参加するほか、新たにインドからも参加があります。海外団体にはオオバン広場にて展示発表をしていただくほか、水の館2階において海外の珍しい鳥などの紹介スライドショーを上映します。

日本では見ることのできない様々な野鳥の紹介や、現地の雰囲気漂う展示や衣装にもご注目ください。また、フィリピンから新たに参加する団体からは、日本とフィリピンを行き来する渡り鳥「サシバ」の紹介をしていただきます。

近年は実行委員からの招待ではなく、事務局への直接問合せ件数が増えています。人ではなく、鳥が両国の橋渡しをしてくれるのもJBFの醍醐味です。

India has 1,225 species of birds
Japan has 619 species of birds
[Fairy Pitta in Japan and Indian Pitta here](#)



インド

Desert Birds in Thar and Rann of Kutchh

Baya (left) Amur Falcon (center), and Great Indian Bustard (right)



インド



フィリピン

海外出展国紹介スライドの一部

■その他のイベント紹介

●鳥をはじめとする自然環境に関する講演

○ゲストトーク『海ゴミ GO ME! ~ゴミが鳥や動物に与える影響、減らすために私たちが
 できること~』 : 鳥の博物館

講師：葉山 久世（神奈川県野生動物救護連絡会）

陸で発生したゴミは水路を通じ最後に海に出て行きます。これらのゴミに水鳥やウミガメ、
 鯨類が絡まったり、誤食してしまう例はこれまでも知られてきました。最近の研究でプラスチ
 ックゴミは海水中の有害な化学物質を吸着し、生態系や人の健康を脅かすことが懸念されてい
 ます。ゴミを減らすために私たちはどうしたらよいのか、お話ししていただきます。

○講演会『“愛知で育てる♥コアジサシ” プロジェクトって何!?!』 : 水の館

講師：谷口高司（野鳥図鑑画家）、日本野鳥の会愛知県支部

今年からコアジサシの保護・保全活動を始めた日本野鳥の会愛知県支部。当初は資金が足
 りませんでした。保護保全活動に必要なのは、エネルギーだけではなく、人と人との輪や様々
 な機転が必要であるという話を楽しくお伝えしていただきます。

- 絵画展、鳥の彫刻展（バードカービングによる社会貢献） : アビスタ
- 鳥フォトコンテスト写真展（1,000点以上を展示） : アビスタ
- 野鳥に関連した小物づくり体験 : アビスタ
- 鳥グッズ、書籍、野鳥観察道具などの展示・販売 : 手賀沼親水広場、オオバン広場
- 行政、NPOなどの活動紹介展示 : 手賀沼親水広場、オオバン広場
- 小・中・高校生による環境学会（11月4日10:00~） : 水の館3階研修室

●全日本“鳥”フォトコンテスト（BIRD-1グランプリ）

日本最大の鳥のイベント“ジャパンバードフェスティバル”
 の実行委員会が主催する9回目の野鳥写真公募展です。今年も
 グランプリ作品には、文部科学大臣賞（生態・行動部門）、環
 境大臣賞（環境部門）を授与します。そのほか、協賛企業が選
 出した企業賞を含め、全25作品が入賞となっています。また、
 ほとんどの応募作品（1,000点以上）を11月3日（土）、11
 月4日（日）にアビスタミニホールに展示します。

応募総数

生態・行動部門	271人	707点
環境部門	131人	327点
総数	402人	1,034点



JBF2018 生態・行動部門グランプリ
文部科学大臣賞
「地獄谷を翔ぶ」
撮影地：富山県立山町
石黒 貴啓さん（静岡県浜松市在住）



JBF2018 環境部門グランプリ
環境大臣賞
「鷺の輪」
撮影地：京都府綾部市
住山 博さん（京都府京都市在住）

【問い合わせ】

我孫子市環境経済部手賀沼課

担当 大矢、初見

☎04-7185-1484